

平成23年度 事務事業評価（内部評価）シート （平成22年度実施事業）

基本データ	事務事業名				担当部署					
	農業委員会運営事業				部	農業委員会		課長	野地 明良	
					課			担当	岡崎 茂樹	
					係			電話	2287	
	第4次総合基本計画における位置付け				実施根拠＜法令、要綱等＞					
政策項目	06	活力を生む（産業の活性化）			農業委員会等に関する法律 他 事業期間＜開始・終了予定＞ S 29 年度 ～ 年度					
大項目	01	産業を育む（活力ある産業の振興）								
中項目	02	農業								
予算科目（コード）	款	06	項	01	目	01	細目	001	細々目	01
事務事業概要	目的									
	＜対象は誰、何か＞					＜対象をどのような状態にすることを意図しているか＞				
	農業委員・農家					農業委員会活動をとおり、農業経営の安定化、担い手の育成を行っていく。				
	内容					実績・成果				
	農業委員会活動（農地法に基づく農地の権利移動の許可をはじめとする法令業務。食糧の安定供給の基盤である優良農地の確保と担い手への利用集積を図るための各般の取り組み）の推進。①毎月1回の総会②農地農政部会③農地法に基づく教科申請及び届出に伴う現地確認調査④視察研修会等及び建議、要請活動に係る庶務事務 等					①市長への要望を行い、生産緑地の追加指定が実施され、約520㎡の農地が生産緑地に指定された。②農地法に基づく届出等事務処理（62件）③農業委員活動（366件）④各種証明事務（85件）				
	コスト		(単位)	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度予算	備考＜特財名称等＞			
	直接事業費		千円	8,916	8,914	9,099				
	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都支出金	千円	973	955	36				
		地方債	千円							
その他特定財源		千円								
一般職員人件費		千円	25,500	25,500	25,500					
人工数		人	3.00	3.00	3.00					
再任用職員人件費		千円								
人工数		人								
総事業費		千円	34,416	34,414	34,599					
事務事業評価	個別評価（大いにある→5、概ねある→4、どちらかというところ→3、あまりない→2、ない→1）									
	①必要性	5	＜判断理由＞			②妥当性	5	＜判断理由＞		
	農地関係法令に係る事務処理等を円滑に遂行するために、必要である。また、農産物の供給はもとより緑の確保、災害時の空間確保などの観点から農業委員会が担う農地の保全や有効利用の推進といった役割が大きいことから、必要性が高いと考える。					農家を代表し国、都、市に対し、生産緑地の追加指定など建議及び要望を行い、農地の保全に努めた。また、優良農地の確保や担い手への支援など、農業関係の専門的分野のエキスパートとして委員会の必要は妥当である。				
	③有効性	4	＜判断理由＞			④効率性	4	＜判断理由＞		
	近年、農地や農家が相続などで減少してきている状況の中、生産緑地の追加指定などにより、農地の確保、保全ができています。また、地域農業者の相談や、要望などを受け、農業の安定的経営に尽力をつくしている。					現在の委員で担当地区を決め、農地の適正管理を行っている。また、研修会等に積極的に参加し、地域農業の推進に努めている。				
合計点数 (20点満点)	18点		評価全般・今後の方向性に関するコメント＜理由、改善内容等＞ 農家を代表し、農業行政を遂行していくために、現状を維持していく必要がある。活動の内容がなかなか明確化出来ない現状を活動カードを活用し、明確化していく必要がある。							